

広島商船高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	比較政治論
科目基礎情報						
科目番号	19専26037			科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	海事システム工学専攻			対象学年	専2	
開設期	後期			週時間数	2	
教科書/教材	浜本隆志・高橋憲 編著『現代ドイツを知るための67章』(第3版) (明石書店、2020年)					
担当教員	小河 浩					
到達目標						
(1)EUの中心であるドイツの政治や経済の仕組みについて一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に応用できる。 (2)ドイツの社会全般などについて一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に応用できる。 (3)ドイツの文化などについて一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に応用できる。 (4)ドイツと他の諸国との比較について一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に応用できる。 (5)ドイツや日本、世界の諸地域の抱える諸問題について理解できて、社会活動に応用できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	EUの中心であるドイツの政治や経済の仕組みについて一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に応用できる。		EUの中心であるドイツの政治や経済の仕組みについて一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に関心が持てる。		EUの中心であるドイツの政治や経済の仕組みについて一般教養程度の内容が理解できず、社会活動に応用できない。	
評価項目2	ドイツの社会全般などについて一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に応用できる。		ドイツの社会全般などについて一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に関心が持てる。		ドイツの社会全般などについて一般教養程度の内容が理解できず、社会活動に応用できない。	
評価項目3	ドイツの文化などについて一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に応用できる。		ドイツの文化などについて一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に関心が持てる。		ドイツの文化などについて一般教養程度の内容が理解できず、社会活動に応用できない。	
評価項目4	ドイツと他の諸国との比較について一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に応用できる。		ドイツと他の諸国との比較について一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に関心が持てる。		ドイツと他の諸国との比較について一般教養程度の内容が理解できず、社会活動に応用できない。	
評価項目5	ドイツや日本、世界の諸地域の抱える諸問題について一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に応用できる。		ドイツや日本、世界の諸地域の抱える諸問題について一般教養程度の内容が理解できて、社会活動に関心が持てる。		ドイツや日本、世界の諸地域の抱える諸問題について一般教養程度の内容が理解できず、社会活動に応用できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	(1)EUの中心であるドイツの政治や経済の仕組みについて理解できて、社会活動に応用できる。 (2)ドイツの社会全般などについて理解できて、社会活動に応用できる。 (3)ドイツの文化などについて理解できて、社会活動に応用できる。 (4)ドイツと他の諸国との比較について理解できて、社会活動に応用できる。 (5)ドイツや日本、世界の諸地域の抱える諸問題について理解できて、社会活動に応用できる。					
授業の進め方・方法	テキストの各章を受講者に割り当て、要約して発表をしてもらう。それに引き続いて内容に関して自由討論をおこなう。また、ドイツだけではなく、世界中の様々な国々や地域などの諸事情をも合わせて検討し、ドイツの事情と比較検討できるようにする。					
注意点	(1)シラバス内容に照らし合わせて予習をしてくること。 (2)課題などは必ず期限内に提出すること。 (3)学習内容についてわからないことがあれば、積極的に質問すること。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	内容説明とガイダンス、地域学習の重要性を理解する。EUの中心たるドイツ事情を中心に、日本を含む各国情勢を必要に応じて比較検討しながら授業を進めていく。		
		2週	文化と伝説	ドイツの自然と文化を理解して、社会活動に関心が持てる。		
		3週	祭や文学	ドイツのキリスト教文化を理解して、社会活動に関心が持てる。		
		4週	ドイツのブランド製品	様々な工業製品やブランド製品を理解して、社会活動に関心が持てる。		
		5週	ドイツ語とドイツ人のメンタリティー	ドイツ人気質について理解して、社会活動に関心が持てる。		
		6週	ドイツの市民生活	ドイツ市民のライフスタイルについて理解して、社会活動に関心が持てる。		
		7週	ドイツの教育	ドイツの教育問題に関する諸問題を理解して、社会活動に関心が持てる。		
		8週	女性と市民社会	ドイツにおける女性問題と政策を理解して、社会活動に関心が持てる。		
	4thQ	9週	循環型社会とエネルギー問題1	ドイツにおける再生エネルギー問題について理解して、社会活動に関心が持てる。		
		10週	循環型社会とエネルギー問題2	ドイツにおける環境問題について理解して、社会活動に関心が持てる。		

		11週	移民と多文化共生社会1	近年の移民問題を理解して、社会活動に関心が持てる。
		12週	移民と多文化共生社会2	現代のユダヤ人問題を理解して、社会活動に関心が持てる。
		13週	EUとドイツ1	EUとドイツの諸問題を理解して、社会活動に関心が持てる。
		14週	EUとドイツ2	EUの中でのドイツ、ナショナリズムの高まりについて理解して、社会活動に関心が持てる。
		15週	日独文化交流の問題	ドイツにおける日本文化の占める位置について理解して、社会活動に関心が持てる。
		16週	学年末試験	学年末試験、答案返却と解説

評価割合							
	試験	自学自習(発表)	相互評価	態度	課題	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0